

上田高等学校

関西同窓会報

第47号

2018年(平成30年)

7月17日(火曜日)

編集発行

上田高等学校関西同窓会

9月1日(土)に第28回総会・懇親会

関西同窓会の第28回総会・懇親会は9月1日(土)、新大阪の大阪コロナホテルで開催されます。今年の講演会は、田辺三菱製薬株式会社相談役の土屋裕弘氏に「医薬品産業の現状と将来」と題してお話いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

《講演会》 医薬品産業の現状と将来

～自由闊達な企業風土で夢のある新薬の創製を～

《講師》 田辺三菱製薬株式会社相談役

土屋 裕弘 (つちや みちひろ) 氏

《講師のプロフィール》

1947年長野県松本市生まれ。松本深志高等学校、京都大学薬学部卒業。1976年京都大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)。同年田辺製薬株式会社(当時)入社。応用生化学研究所、研究企画部、取締役経営企画部長、代表取締役専務執行役員研究本部長を経て、2007年田辺三菱製薬株式会社取締役副社長。2008年三菱ケミカルホールディングス取締役を兼務。2009年より田辺三菱製薬代表取締役社長を5年間勤めた後、会長を経て2017年より相談役(現職)。2018年住友電気工業株式会社取締役(現職)。趣味は散歩、読書、野球観戦。



講師のメッセージ

衛生環境の向上、国民皆保険制度、充実した医療提供体制、世界トップレベルの創薬力などによって日本は、世界屈指の長寿国となっている。しかし、少子超高齢社会にあって「健康寿命の延伸」は喫緊の最重要課題である。今後、健康医療関連産業は、健康の維持向上に「トータルヘルスケア・ソリューション」という視点から取り組む必要がある。このような状況にあって、医薬品産業の現状と今後の果たすべき役割について紹介します。

◆第28回総会・懇親会案内◆

【とき】2018年9月1日(土)

受付開始 10:00

定期総会 10:30~11:00

講演会 11:10~12:10

懇親会 12:30~15:00

【ところ】大阪コロナホテル

大阪市東淀川区西淡路1-3-21

tel. 06-6323-3151

総会: 2階215号室 懇親会: 200D号室

【会費】 会員: 7,000円

ご家族: 5,000円 初参加会員: 5,000円

学生会員: 3,000円

【アクセス】JR新大阪駅東口(西淡路方面口)より徒歩2分



今年の講演会はビジネスの話題です 会長 竹内俊隆 (68期)



皆さんこんにちは。会長を拝命してから、もう任期の半分が過ぎようとしています。この間のご支援に深謝いたします。まだまだ試行錯誤を重ねていますが、同窓会をさらに盛り上げていくためにはいくつかの課題があります。とくに、積年の課題ですが、総会や文化交流会などへの参加者の増加です。そのためには、関西在住の若手・中堅の掘り起しが肝要ですが、口コミに頼らざるを得ないのが現状です。転勤族も結構多いのでせっかく参加いただいた会員も少ししたら転出してしまおう等の構造的な問題も抱えております。

さて、試行錯誤の一環として、昨年度より故郷長野県や上田に関する話題、およびビジネス関係の話を経会などでしていただく方針を掲げました。昨年は第一弾として、84期の片桐氏に「真田丸」の放映に伴う上田の賑わいなどを話していただきました。今年は、ご多忙にもかかわらず、松本深志出身で田辺三菱製薬の社長、会長をなさった土屋氏に、製薬業界の話をしていただけることになりました。日本の製薬業界そして関西経済界の重鎮です。最近、武田薬品工業がアイランドの製薬大手シャイアーを買収することで合意しましたが、こうした動きの背景に何があるのでしょうか。日本の医薬品産業の現状と将来について興味深いお話を聞けると思います。乞うご期待。皆様誘い合わせてご参加ください。

春の文化交流会 桜井市の卑弥呼伝説の里を巡り、大神神社・長谷寺を参拝



大神（おおみわ）神社二の鳥居前で

4月7日（土）、春の文化交流会が開催されました。関西地方は前日の金曜日が大荒れの天気で、当日の天気心配されましたが、かなりの冷え込みとなったものの、時折暖かな太陽の光が差し込む天候の中での開催となりました。

今回のテーマは「卑弥呼伝説の里纏向遺跡・箸墓古墳見学と春爛漫の大神神社・長谷寺参拝」で、午前中は箸墓古墳を起点とし、大神神社に至る「縁結び赤糸の小道」に沿って2時間ほどのハイキングを楽しみました。

午後は長谷寺参道の歴史ある温泉旅館「井谷

屋」で美味しい料理を楽しんだ後、西国三十三所第8番霊場長谷寺を参拝しました。合計7～8キロほどの距離の散策となりましたが、参加者の皆様お疲れ様でございました（武舎一夫）。

文化交流会の詳細は参加した土屋俊夫さんの報告が6～7ページに掲載されています。

お悔み申し上げます

保屋野文男氏（43期）平成29年4月11日

会費納入にご協力をお願いします

関西同窓会は皆様の会費で運営されています。会費未納の方が納入される場合は、過去に遡る必要はありません。納入時点の会計年度から結構です。例会にも気軽にご参加ください。会費納入の方法

- ① 年会費＝1人2,000円。
- ② 特別会費＝1口5,000円以上。任意ですが、ご支援いただける方はよろしく願います。
- ③ 振込方法＝同封の郵便振替用紙をご使用ください。複数年の納入も申し受けます。

4月より校長に着任しました

上田高等学校長 廣田 昌彦



4月より上田高校の校長に着任しました、廣田昌彦と申します。卒業生ではありませんが、3月までは全日制教頭として本校に勤めていましたので、上田高校はこれで3年目ということになります。内堀前校長先生からそのまま学校長を引き継ぐということは、まったく予想もしていなかったことなので、とても驚きながら、責任の重さを感じているところです。

このごろ上田高校が、全国の高校教員が読む教育情報誌に特集されました。特集のタイトルは「新教育時代、幕開け」。全国の高等学校関係者の懸案となっている今次教育改革に係る課題の取り組みについて、茨城県の公立高校、京都府の中高一貫校とともに上田高校が数ページにわたって紹介されています。

上田高校は、古い伝統を持ち地域から篤い信頼を寄せられる県内の基幹校でありながら、新しい教育を施すリーダーとしての役割を發揮する学校としての評価を高めています。

戦後、ほぼ10年ごとに高等学校学習指導要領は改訂されてきました。つまり、10年に一度、時代のニーズやそのときの社会の要請にこたえるべく高等学校の授業内容は大きく変わり、新しい教科や科目が教えられてきたのです。今次の教育改革については、例えば今年入学した高校一年生から大学入試制度も大きく変わることになっていますので、社会的に大きな価値観の変化をもとめるものになるでしょう。

そのような中で、内堀前校長先生のご指導のもと、一步先を行く学校としての成果をあげつつある上田高校の取り組みが注目されました。本校はご存知のようにスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されて3年が経ちますが、その活動をうまく新時代の教育にかなう学校改革へつなげ、進路実績や教育内容に成果を上げているという点が評価されています。

さて、これまで長野県の高校教員として教校につとめてまいりましたが、本校の同窓会ほど熱烈に母校を愛し、物心両面にわたって手厚いご支援を卒業生の皆様からいただける学校はほかにはないと思います。最後に、いつもながらのお願いで恐縮ですが、同窓会本会への会費納入や、「上田高校の教育活動のために」と書いて長野県にふるさと納税をしていただくことにより、上に述べた教育活動やICT（情報通信技術）機器の導入、SGH等の活動を今後も継続していくことが可能になりますので、引き続きのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<進路状況>

例年以上に現役生、既卒生ともに健闘

進路指導主事 菊池 文明

日頃は上田高校の教育に深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

進路状況は、全国的に難関大学志向が高まっている中で、例年以上に現役生、既卒生ともに健闘し、本校生の潜在能力の高さを強く感じさせる結果となりました。

国公立大学は現役生152名合格。旧帝大合格者は現浪合わせて26名。北海道大学6名、東北大学10名、東京大学1名、名古屋大学3名、京都大学3名、大阪大学2名、九州大学1名でした。

医学部医学科には現浪あわせて国公立大学3名、私立大学5名合格しました。また、SGHの

第一期生ということで、その活動を生かした積極的な出願も見られました。

私立大学については、定員超過の絞り込みで近年厳しい入試が続いておりますが、現浪合わせて慶応義塾大学10名、早稲田大学15名など、他大学合格者数も例年並みで堅調な合格を果たしています。

本校生には、新しい時代や未来を創造するために必要な「真の学力」、「高い志」、「豊かな感性」と「いざ百難に試みむ」の精神を身に付けて行ってほしいと願っています。

今後も、ご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

2018年入試進路実績(現役+浪人)

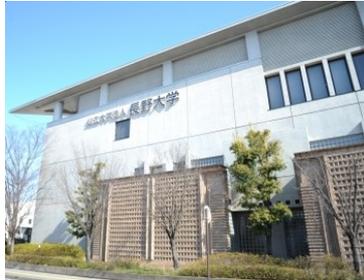
大学名		大学名		大学名		大学名	
国立大学		埼玉県立	1	駒澤	7	武蔵野	9
北海道	6	前橋工科	1	実践女子	4	武蔵野美術	1
弘前	1	首都大学東京	3	芝浦工業	11	明治	26
東北	10	横浜市立	5	順天堂	1	明治学院	5
山形	2	新潟県立	5	上智	1	明治薬科	3
茨城	6	新潟県立看護	1	昭和	4	明星	3
筑波	4	石川県立	1	昭和女子	2	立教	21
群馬	9	公立小松	1	昭和薬科	3	早稲田	15
埼玉	6	福井県立	2	女子美術	1	麻布	1
千葉	11	山梨県立	1	成蹊	3	神奈川	4
お茶の水女子	1	長野	2	成城	7	相模女子	2
電気通信	1	長野県立	6	専修	9	新潟薬科	3
東京	1	静岡県立	2	創価	3	金沢医科	1
東京海洋	2	愛知県立	1	大正	3	金沢工業	4
東京外国語	1	大阪府立	1	大東文化	6	長野保健医療	2
東京学芸	5	公立大学計	46	玉川	3	佐久	2
東京芸大	1	私立大学		多摩美術	1	諏訪東京理科	2
東京農工	2	岩手医科	1	中央	27	松本	2
上越教育	1	国際医療福祉	5	津田塾	1	愛知学院	1
新潟	11	自治医科	3	帝京	2	中京	5
富山	11	群馬パース	1	東京音楽	1	名古屋外国語	3
金沢	11	高崎健康福祉	3	東京家政	2	南山	1
信州	35	城西	1	東京経済	1	藤田保健衛生	1
静岡	3	獨協	8	東京工科	1	名城	1
名古屋	3	文教	17	東京女子	3	京都外国語	2
名古屋工業	1	神田外語	1	東京電機	3	京都女子	2
三重	1	秀明	2	東京都市	3	同志社	7
京都	3	千葉工業	15	東京農業	3	同志社女子	1
京都教育	1	東京情報	1	東京薬科	1	佛教	1
大阪	2	青山学院	7	東京理科	9	立命館	14
大阪教育	1	亜細亜	1	東洋	35	龍谷	1
神戸	1	大妻女子	3	日本	18	大阪工業	1
島根	2	学習院	5	日本医科	1	関西	2
九州	1	北里	10	日本社会事業	1	関西外国語	3
琉球	1	共立女子	3	日本獣医生命科学	1	近畿	7
国立大学計	158	杏林	5	日本女子	3	関西学院	4
公立大学		慶應義塾	10	日本女子体育	1	姫路獨協	3
茨城県立医療	1	工学院	3	文京学院	2	その他	24
群馬県立女子	1	國學院	11	法政	24	私立大学計	528
高崎経済	11	国士舘	4	星薬科	2		

公立化する長野県の大学

長野県では昨年から今年にかけて公立化する大学が相次いでいる。昨年は長野大学（上田市）、今年は公立諏訪東京理科大学（茅野市）が、また長野県立大学（長野市）はもともと公立の長野県短期大学が4年制化して開学した。公立化に伴い、地方交付税交付金が運営費に充てられるため経営難の私大が公立化を希望し、地方から若者の流出を防ぎたい自治体の思惑が一致したかたち。一挙に3校も誕生した長野県の公立大学の今後が注目される。（石沢）

公立化した長野大学 2年目へ

上田市と合併した旧塩田町が敷地や資金を提供して1966年にできた長野大（上



田市下之郷。当時は本州大）は、2017年4月に上田市が設置する公立大学となり、今年で2年目を迎えた。公立大学は地方自治体が設置するが、直接運営か法人経営かのいずれかを選択できる。長野大は地方独立行政法人で自治体の直接経営でなく柔軟な財政運用が可能。

公立大学法人になった場合、総務省から運営交付金が受けられる。私大の時より交付金が多く、この増額分で学費を引き下げた結果、入試倍率が上がり大学の難易度も高まっている。昨年は他県からの合格者が多く、地元の長野県の割合が少ないという皮肉な結果を招いた。読売新聞（5月31日付）によると、今年の入試倍率は8.3倍だった。2018年度より募集人員を増員し、各学部とも一定程度を「地元枠」に充てた。ちなみに上田高校から今年は2名が合格している。長野大は社会福祉学部（150人）、環境ツーリズム学部（95人）、企業情報学部（95人）の3学部がある。（カッコ内は今年の募集定員）

公立諏訪東京理科大学が開学

長野県諏訪地域の六市町村（岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村）でつくる事務組合が受け皿となり、諏訪東京理科大（茅野市豊平）が4月から公立化した。前身の諏訪東京理科大は工業地帯の県中南部で唯一の4

年制工学系私大という強みがあったが、06年度から定員割れが続いていた。公立化で一人あたりの学生納付金を引き下げ、国立大並み授業料（約53.5万円）で学生を迎えた。公立化すると学校法人東京理科大学とは別の大学になるが、同大学と姉妹校協定を結び、教育や研究の面でこれまでと同様に協力支援を受ける。上田高校から2名合格。

長野県立大学 定員240人で開学

長野県立大学（長野市三輪）は1950年（昭和25年）創立の長野県短期大学を4年制化して2018年4月に開学した。グローバルマネジメント学部（170人）と健康発達学部（70人）の2学部からなる。

信濃毎日新聞（4月4日付）によると、入学予定者は、定員の240人より7人多い247人。うち県内の高校出身者が143人と全体の6割近くを占め、県内高校出身者の約半数を北信地方が占め、東信、中信、南信の順に続いた。

女子が全体の7割強に当たる177人だった。競争倍率は全体で2.6倍。大学は1年生全員が学生寮に入寮し、2年生全員が海外プログラムに参加するなどの特徴をもたせている。ちなみに上田高校から今春6人が合格した。

赤松小三郎関連動画 ューチューブで公開

動画「上田の風 ふたりの先生」（31分）がYouTubeで公開されている。明治維新を成し遂げた西郷隆盛たち若き指導者に国のあり方を教えた赤松小三郎と、その赤松小三郎を顕彰する会会長の故・伊東邦夫さん。その2人の功績に焦点をあてたドキュメンタリー動画です。ぜひご覧ください。

検索サイトで「上田の風ふたりの先生」へ

卑弥呼伝説の里散策と大神（おおみわ）神社、長谷寺の参拝

土屋 俊夫 83 期

赤糸の小道を歩く

4月7日（土）午前9時45分、JRまほろば線の巻向駅改札口に集合したのは11名。

かなり冷え込んだものの心配した雨も降らず、時折太陽が雲間から顔を出す中での開催となりました。ボランティアガイドさんはまず「赤糸の小道周遊マップ」という地図を配って本日のコースを説明してくれました。

これは古事記の逸話に由来します。「夜ごとと姫のもとに通う正体不明の若者を特定するため、服に赤い糸を結び付け、朝その赤い糸を辿っていくと大神神社に至った。若者は実はその神社の大物主（おおものぬし）であった」という伝説がありますが、今回のコースはその赤糸の道をたどるという設定です。

右上の写真は赤糸の小道の看板ですが、これを見ると水色で表される溜池が非常に多いことが分かります。赤糸の小道は溜池の間を縫うようにくねくねと続いています。

まずスタート地点へと向かいました。駅の改札口から線路の踏切を渡ってしばらく行くと、ガイドさんは右側（巻向駅の西側）を指して「向こうに柱が何本も建っていますが、あれが纏向（まきむく）遺跡 辻地区の首長居館跡に復元した柱です」とのこと。近くまで行って見たいと思ったところ、赤糸の小道とは逆方向なので時間の関係で行かないとのこと、残念！でした。



スタート地点の大池。池の向こうが箸墓古墳

10分ほどでスタート地点の大池に着きました。ここは溜池です。ガイドさんは池の向こうの小山が箸墓古墳だと教えてくれました。箸墓古墳は3世紀半ばの建造とされ、古墳の中で最も古いものの一つです。一説では卑弥呼の墓ともされるもので、この場所はいわば日本の文明の発祥の地であり、日本史の黎明の地を踏みしめているという感慨が湧いてきました。

三輪山と大神（おおみわ）神社

いくつかの神社を巡ったのち道は次第に登りになり、山のふもとで「山の辺の道」と合流しました。この道は大和の古代道路のひとつで、三輪山のふもとから奈良の春日山のふもとまで、奈良盆地の東縁の山々の裾を縫うように通じていた古道です。巾は2mほどで、歩いて気持ちのよい現代のハイキングコースでした。



赤糸の小道のルートを示した看板

いくつもの神社を巡ったのち道は次第に登りになり、山のふもとで「山の辺の道」と合流しました。この道は大和の古代道路のひとつで、三輪山のふもとから奈良の春日山のふもとまで、奈良盆地の東縁の山々の裾を縫うように通じていた古道です。巾は2mほどで、歩いて気持ちのよい現代のハイキングコースでした。

真撮影禁止だそうです。神社には万病に効くという薬水が湧き出る井戸があり病氣平癒の信仰が篤い神様だそうです。大勢の人が湧き水を汲んだり飲んでいました。



大美和の杜（おおみわのもり）では枝垂れ桜が満開

午前の最後の目的地・大神神社へ行く途中に小さな丘がありました。そこは大美和の杜（おおみわのもり）といい枝垂れ桜が満開で頂上は展望台になっていました。天香久山（あまのかぐやま）、畝傍山（うねびやま）、耳成山（みみなしやま）の大和三山が遠望でき、万葉集の世界に入ったようでした。

ここを降りて遂に辿り着いた大神神社は三輪山をご神体とする神社です。ご祭神の大物主神（おおものぬしのかみ）がお山

にいるため、古来から本殿は設けず拝殿の奥にある三ツ鳥居を通して三輪山を拝するという原初の神祭りのさまを伝える、我が国最古の神社だそうです。祭神の大物主の神は、蛇神であり、水神また雷神として、稲作豊穰、疫病除け、酒造りなどの神として篤い信仰を集めています。私たちも赤い糸に導かれて、ついに到着し参拝しました。

長谷寺へ

大神神社の鳥居前からタクシーにのり近鉄桜井駅へ。そこから電車で長谷寺駅まで行き、迎えにきたマイクロバスにて昼食会場の旅館「井谷屋」へ移動しました。この旅館、初瀬街道に面しており間口は普通ですが、奥行きがあり奥へ奥へと進むと、一番奥は山のふもとに達していました。我々は奥の座敷でゆったりと昼食をとり、近況を語り合いながら交流しました。午前中に歩いた疲れが癒される思いでした。

井谷屋のすぐ近くが長谷寺です。奈良時代創建の由緒ある寺です。西国三十三所第八番札所であり、四季を通じて「花の御寺」として多くの参詣者があります。見ごろは過ぎていましたが、遅咲きの桜と新緑との対比も楽しむことができました。また珍しい緑色の桜である御衣黄桜は、遅咲きのはずが既に開花して見ることができたのはとても幸運でした。

私は昨年真田丸関連での九度山訪問に続き、文化交流会は2度目ですが、今回は家内も連れて2人で参加させていただきました。家内は上



長谷寺の本堂をバックに記念撮影

田高校関係者でもなくまた、そもそも日本人でもなかったのですが、参加された皆さんから親しく声をかけていただき大変喜んでおりました。最後になりましたが、今回の文化交流会を企画してくださった武舎さんのご尽力に深く感謝いたします。

スマホを活用する入門講座 10月6日(土)に開催

最近多くの方がスマホを持つようになりました。しかし、「スマホは持っているけど全然活用できていない」「SNSってよく聞くけどよくわからない」、そんな声をよく耳にします。関西同窓会員の方向けにスマホを活用し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）上で安全に使いこなす入門講座を開きます。皆さまお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。



[日 時] 2018年10月6日(土) 午後1時30分～4時

[場 所] ホテルアウィーナ大阪 201号室

〒543-0031 大阪市天王寺区石ケ辻町19番12号 TEL.06-6772-1441

<アクセス> 近鉄上本町駅から徒歩3分

[テーマ] 「スマホを活用し楽しく安全にSNS」

[時 間] 午後1時30分～4時(休憩と質疑応答を含む)

[講師] 土屋俊夫(株式会社 NarrowGate 代表取締役)

理学博士・情報セキュリティアドミニストレータ(国家資格)

京都大学大学院情報学研究科非常勤研究員。関西同窓会広報委員長

[講座概要]

SNSってなに? <初心者向けインターネットやSNSの入門的解説>

楽しく SNS <ライン(Line): インスタグラム: フェイスブック: ツイッターなど
人気のある SNS を紹介。インスタ映えも出来るようになります>

安全に SNS <スマホ利用には思わぬ危険!? SNS使用によるトラブル例>

[会 費] 1,000円

(会場費と飲み物代を含む。当日いただきます)

[申し込み先]

〒635-0013 大和高田市昭和町 8-11-226

武舎一夫

e-mail: pretrejean@nifty.com

FAX: 078-583-5775 (隅田幹事長宅)

9月30日(日)までに上記宛に郵送、メール、FAXの何れかでお申し込みください。

